

Webサイト
「せんだいタウン情報 machico」



For Children By Childrenの カレンダーを南三陸・東松島のこどもたちへ

海外の子どもたちが、日本の子どもたちの為に描いてくれた沢山の絵を活用したカレンダー。



この取り組みに共感してくださった富士ゼロックスさんが印刷費用を負担していただき、今回南三陸の小・中学校と東松島の保育所の子どもたちに届けることができました。

現在machicoでは、これまでの活動の記録を掲載しています。
是非一度ご覧ください。▶<http://pages.machico.mu/tomoni/>



復興のための「頑張り」「取り組み」を、
1つでも多く記事にして応援します。

宮城県復興応援ブログ・ココロプレスは昨年12月12日のオープン以来、2カ月で約300本の記事を発信し、3万件以上のアクセスをいただいています。辛い体験談の一方で、情熱あふれる方々や希望につながるお話に触れることができ、スタッフは取材のたびに元気をいただいているようです。復興のために、これからも元気の出る記事を発信していきます。



<http://kokoropress.blogspot.com>

写真家・穴戸清考写真集

「Home」を発行



3月1日、震災後の宮城の1年を記録した写真集「Home 美しき故郷よ」を出版します。混乱する街の様子、被害の爪痕、被災地に咲いた桜、待ち望んだ夏祭り、美しい故郷の自然など、156枚の写真を収めました。撮影は仙台在住で伊奈信男賞を受賞した穴戸清孝氏。宮城県内の書店、アマゾン等で販売します。2000円＋税。



私たちユーマディアグループ（ユーマディア・プレスアート・仙台シティエフエム）は、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく『ともにPROJECT-ACTIONみやぎ-』という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア | 株式会社プレスアート | 株式会社仙台シティエフエム



仕事でした。ラジオや楽器の寄贈、避難所での炊き出し、ブックカバーの制作、小中学校へ本の寄贈、沿岸部被災地でのイベントへの協力など、「被災地を支援する、被災地でたちあがろうとする」ことを応援したいと地域や全国の団体・企業の方々と一緒に活動してきました。

「ともプロ」のこれから

募金を届ける、被災地を伝える、こどもたちの心を癒す、支援活動に協力する、事業再興を支援する…手探りで動きながら、活動を通して出会う



方々の強く前向きな気持ちにちなんで、数多く触れた1年間で、県内どこに行っても、多くの方が被災者で、同時に復興を担う当事者だと感じます。

「ともプロ」はこれからの

数年間、そういった復興の担い手たちを支援し、企業として地域経済復興の一翼を担うことを軸に、地域の方々、全国の支援者の皆様と連携しながらさらに広がりと継続性のある活動を展開していきます。メディアと地域情報コンテンツ、これまで築いてきたネットワークを活かして私たちが宮城の復興に貢献できることはこれから先もまだまだあります。

あの日この地を襲った絶望感を心に刻み、それでも決意して行動する宮城の人たちとともにこれからも歩み続けられます。

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECTの いままでと、これから



「復興には10年かかる。スローガンを掲げるだけでなく被災地に心を寄せて一緒に動き続けられる活動を。」スタッフが集まり方向性を確認したのが3月下旬。

・被災地仙台・宮城とともに歩んできた企業として、この地の復興のために何かをしたい。という思いを原点にしたい。→「ともにPROJECT-ACTIONみやぎ」(以下、「ともプロ」)はスタートしました。

震災直後から、たくさんの方々が宮城に寄せられ、多くの方が何かをしたいと宮城に入り、被災地の人たちの優しさや立ち上がろうとする姿を取り上げられていました。「ともプロ」ウェブサイ

トはそんな思いと行動をつなぎ大きく長い支援の輪にする旗でありたいと立ち上げたものです。

**メディアとして、
地域の企業として**

震災直後から、ユーメディアアグループのメディアには、多くの読者や会員の皆様から被災した方に何かをしたという声が多く寄せられ、まずそれぞれのメディアで募金を開始しました。

コミュニティエフエム「ラジオ3」は震災直後から限られる電源を調達しながら仮設スタジオで災害放送を続け、コミュニティラジオ局だからできる細やかな情報発信を続けました。

「S・style」「Kappo」は「報道とは違う視点で被災



地を伝える。”という使命を再確認し、仙台・宮城の人たちの思いを詰め込んで「復興祈念号」を4月末に発行。県内の避難所を訪問し多くの方に読んでいただきました。

「せんだいタウン情報 magazine」は、編集長自らが被災地を歩いてつづるブログを日々更新、世界の子どもたちと被災地の子どもたちをアートでつなぐプロジェクト“For children By children”を展開しました。このプロジェクトとあわせて、被災した方々や子どもの心のケアに取り組みたいと、当社クリエイターとカラーセラピーが「とまろオリジナルの折り紙を制作し、グループ全社員で袋詰めをして避難所や被災地の子どもたちに届けました。

全国からの支援を被災地につなぐ、というのも大切な

これまでの主な活動

	2012年1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	2011年3月
■Kappo 特別バスター 震災から1年、春告人を探しに… 南三陸町へ(3月実施予定)	■ゼロックス様のご協力により For children By children カレンダーを南三陸町・東松島へ	■聖ウルスラ学院英智高等学校 文芸同好会 詩集発行協力	■みんなの新しいふるさとづくり プロジェクト協力	■おおさき食材王国プロジェクト協力	■仙台オクトーバーフェスト2011開催 ■手紙プロジェクト発行協力 ■秋刀魚が日本をつなぐ架け橋プロジェクト協力	■松島流灯会 海の盆 協力 ■Android対応 「長たあなり」開発 ■長町駅前商店街振興組合 セタかり 折紙提供	■COLORweb MAGAZINE 義援金付広告企画実施 ■ATアクト会社案内印刷協力 ■LOVE FROM東北プロジェクト協力 ■S-style6～10月号・Kappo7月号 義援金付広告企画実施 ■S-style&Kappoを避難所に 届けようプロジェクト実施 ■丸善×S-styleスイーツフェア開催 ■気仙沼の美しい風景写真の寄贈	■machico 被災地の 特産品販売開始 ■アオイ麵製品販売協力 ■LOVE FROM東北プロジェクト協力 ■S-style6～10月号・Kappo7月号 義援金付広告企画実施 ■S-style&Kappoを避難所に 届けようプロジェクト実施 ■丸善×S-styleスイーツフェア開催 ■気仙沼の美しい風景写真の寄贈	■ラジオ3 炊き出し with 宮崎サンシャインFM ■東北学院大災害ボランティア ステーションのロゴデザイン協力 ■仙台商工会議所 女性会 仙台セタへの参画協力	■For children By children プロジェクト開始 ■フリーペーパー「東北は負けない」 マチコイン募金 ■machico 復興ブログ開始 ■ラジオ3 震災情報番組 「がんばろう仙台・宮城」開始 ■ラジオ3 手回しラジオ80台の寄付 by FMわいわい	■ともにPROJECT発足 ■machico 「東北地方太平洋沖地震」 マチコイン募金 ■machico 復興ブログ開始 ■ラジオ3 震災情報番組 「がんばろう仙台・宮城」開始 ■ラジオ3 手回しラジオ80台の寄付 by FMわいわい

**ユーメディアグループ
義援金のご報告**

当社グループの媒体、イベントを通じて寄せられた義援金を、
宮城県・仙台市へお届けしました。ご賛同いただいた皆様、ありがとうございました。

- せんたいタウン情報machico マチコインによる募金
- S-style、Kappo読者義援金、義援金付広告企画
- ColorWeb MAGAZINE義援金付広告
- 仙台オクトーバーフェスト2011 会場募金及び売上の一部
- 松本オクトーバーフェスト実行委員会より預かりした「松本サマーフェスト」での募金



ACTION
みやぎ

www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

私たちユーマディアグループは、
地域とともに歩んできた企業と
しての役目を果たすべく「とも
にPROJECT"ACTIONみや
ぎ」という地域復興支援活動を
展開しています。

株式会社ユーマディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす

東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともレポ 07

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

せんだい
タウン情報
machico

For Children By Children マチモール
カレンダー発売中♪ポストカードも近日発売

被災地を思う世界中の子どもたちから送られてきた絵を掲載している、machicoの人気企画「For Children By Children」のオリジナルカレンダーを販売中です。年賀状大好評につきポストカードも発売決定。大切な人へのメッセージへ是非お使いください。



収益の一部は被災地の子どもたちへの支援金となります。

食材王国みやぎ×machico キャンペーン実施中

県産の美味しい食材を提供してくれる地産地消推進店の感想などをコメント投稿をすると、2月のキャンペーン参加店で使える商品券1000円分が当たる♪食べて嬉しい復興支援のキャンペーンです。お見逃しなく! (12月31日(土)まで)

仙台 マチコ 検索

仙台市では東日本大震災の画像・映像を募集しています

仙台市では、東日本大震災の被害状況や復旧・復興に向けた取り組みなどの記録を残し、後世に伝えるため、市民の皆さんが撮影した画像・映像等を募集します。ご提供いただいたものは、データベースとして整理され、復興活動、防災対策などの啓発、教育などに活用されます。

- 募集内容＝地震発生時の様子や被害状況、復興・復旧に向けた取り組みなど
- 募集データの種類＝一般的なパソコンで読み取り可能なデジタルデータ(携帯電話で撮影した写真や動画を含む)やフィルムカメラの写真等
- 提供方法＝投稿用ホームページ(<http://sendai-shinsaikiroku.jp>)で

図／事業運営事務局 ☎022-714-8319、仙台市総務企画局広報課☎022-214-1150



ユーマディアグループ義援金のご報告

当社グループの媒体、イベントを通じて寄せられた義援金を、宮城県・仙台市へお届けしました。ご賛同いただいた皆様、ありがとうございました。

- ・せんだいタウン情報machico マチコインによる募金
- ・S-style、Kappo読者義援金、義援金付広告企画
- ・ColorWeb MAGAZINE義援金付広告
- ・仙台オクトーバーフェスト2011 会場募金及び売上の一部
- ・松本オクトーバーフェスト実行委員会より預かりした「松本サマーフェスト」での募金

宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」復興を応援するチーム・ブログです

「流されたお店を再開した」「なつかしい味が帰って来た」「新しい人と人とのつながりが生まれた」…地域や生業を再建しようとする取り組みが、宮城県内のあちこちで少しずつ始まっています。そんな姿を訪ねて回り、発信するブログが「ココロプレス」です。フログーは約10人。自分自身も被災していたり、「どうしても地元の力になりたい」と新しい経験にチャレンジしたりと、多彩なメンバーが今日もカメラ片手に北風の中に飛び出していました!! ただ今、「元気情報」大募集中!!!! です。



<http://kokoropress.blogspot.com/>

地元の食材を美味しく食べて復興支援!

みやぎの伝統野菜を復活。「仙台白菜」を農業復興のシンボルに

被災した宮城県農業高等学校、明成高等学校の生徒たち、JA全農みやぎが津波浸水の土地に種をまいた伝統野菜「仙台白菜」が、無事収穫の時を迎えました。サンモール一番町で11月23日(祝)に行われた『おもてなし大収穫感謝祭』では、仙台白菜を使った仙台牛鍋や餃子鍋が振る舞われたほか、生徒たちが自ら育てた仙台白菜も販売されました。



<http://tomoni.net/projects/categories/view/0036>

【食材王国みやぎ】旬の県産食材美味しくいただくキャンペーン

県産の美味しい食材を提供してくれる「地産地消推進店」に行って食べて飲んで復興を応援しよう!

12月と2月のキャンペーンは推進店で飲食するとプレゼントが当たるチャンスも♪ 一人ひとりができる復興支援にぜひご参加ください。

<http://suisinten-miyagi.com/>



期間限定オープン中の復興支援セレクトショップに急げ!

東北芸術工科大学の学生が、壱式参横丁に復興支援グッズのセレクトショップ「Send♥ai Reborn Stage」を12月31日(土)までの期間限定でオープン。復興支援を消費動機とするマーケティング実験をかねて、グッズを制作する企業・個人からの協力を得ながら12月1日(木)に開店した。手数料を除いた収益金は被災者に寄付され、このショップによるマーケティングの成果は店長・吉田雄次さん(大学4年)の卒業研究として発表される予定。個別販売されているアイテムを集めたこのショップにぜひ足を運んでみよう。



地元で「福来旗(フライキ)」と呼ばれる大漁旗(気仙沼)や漁網から作られた「漁師のハンモック」(気仙沼)、伝統工芸品でもある雄勝石グッズ(石巻)などを取り扱い中。吉田さんは「こういった取り組みや想いを引き継いでいきたい」と話す

■Send♥ai Reborn Stage
※開店期間／～12月31日(土)
☎仙台市青葉区一番町2-3-28 壱式参横丁内
☎11:00～19:00 困水曜

青葉通	KUFUKU	橋岡
マツダビル	サモール	宮城野
	文化橋丁	ラダグス
ヤマハミュージック	ファミリーマート	
	壱式参横丁	東一番小
	CoCo	
南町通	ミニストップ	

街から広がるみんなのACTION

物心両面に深い爪あとを残した東日本大震災後の今。

「元気をなくした誰かのために、自分が暮らすこの街のために」。それぞれがそれぞれの思いで、今できることを進めています。

みんなのACTIONがこれからも続いて大きく広がっていきますように。

日本とシンガポールを結ぶ音楽親善大使、シンガーソングライターSachiyoが来仙



日本生まれ、シンガポール在住のシンガーソングライター、Sachiyo。震災直後に被災者に捧げる歌として「A Song of Life」を作り、地元音楽業界の協力を得てCD化。CDとダウンロード販売の収益金を被災地に寄付した。「シンガポールの人たちはとてもフレンドリーで、困っている人がいたら助けよう、という気持ちが強いんです。チャリティーイベントでは“TOHOKU”や“GANBATTE”という言葉がたくさん聞きましたし、シンガポールの街でも“日本を応援してるよ”と声をかけられるんです。今後は被災地でのコンサートなどもやっていきたい、と語る彼女。「この曲を世界中の人に知ってもらおうことが、震災を忘れないことにつながればと思います」。チャリティーダウンロード販売は現在も継続中。透明感あふれる歌声で紡ぐ、強くやさしい楽曲をぜひ聴いてみて。

■Sachiyo
「A Song of Life」
チャリティーダウンロードサイト
☎<http://song4hope.net/sachiyo>

■読者プレゼント
サイン入りのシングルCD「A Song of Life」(左)、最新アルバムCD「My Life, My Songs」(右)を抽選で各1名にプレゼント。どちらかが当たるかは編集部におまかせを。さらに、はずれの方の中から、抽選で10名にシンガポール政府観光局のペン&ノートをプレゼント。はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、このコーナーでとりあげてほしい内容を記入の上、〒984-8516 S-style編集部「Sachiyoプレゼント」係まで(応募締切:1月24日消印有効)。

サンドウィッチマンも登場&推薦! 在仙マンガ家・井上きみどりによる震災記録



これまで子育てやダイエットなど、身の回りのことを中心にエッセイマンガを描いてきた在仙マンガ家、井上きみどり。最新刊の本作は、「被災したマンガ家の1人として、支援への感謝と敬意をこめて、支援してくれた団体や被災者の体験談を描いておきたい」と、集英社「YOU」誌上で連載してきた記録マンガだ。石・森萬画館スタッフ、サンドウィッチマンといった被災者のリアルな体験や、赤ちゃんの一時避難に学習サポート、ペット保護といった避難生活を

支えた人々の想いを、シリアスながらもコミカルなタッチで綴る。当時を振り返るだけでなく、今後の生活を考えるためのぎっけに読んでみたい。

■「わたしたちの震災物語 ハート再生ワークス」
集英社
愛蔵版コミックス(A5判)
定価830円
各地の書店で発売中

■読者プレゼント▶P7参照

S-styleまたはKappoを 定期購読していただくと、 被災地の仮設住宅&コミュニティ スペースに本を届けます。



ユーメディアグループでは、東日本大震災を受け、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく地域復興支援活動「ともにプロジェクトーACTIONみやぎー」を展開しております。

この度、S-styleまたはKappoの定期購読（半年または1年）をお申し込みいただくと、被災地の仮設住宅やコミュニティスペースに、お申し込みいただいた雑誌を、同じ期間、発売日に届けるプロジェクトをスタートいたしました。

もともとこの企画はスタッフが仮設住宅を訪問した際に「S-styleを読みたいけど、なかなか入手できる環境にない」というリクエストに応えたものです。

読者の皆さまは今まで同じように定期購読していただくだけです。弊社のほうで自動的に必要とされている場所に本を届けます。お申込みは4月1日から5月末日までの2カ月間。4月1日以降に定期購読の継続手続きをしていただいた方も対象になります。本がどこに届けられたかについてはS-styleやKappoの誌面、ともプロwebサイトで報告いたします。

この機会にぜひS-styleまたはKappoの定期購読をご検討ください。

- ① せんだいタウン情報 S-style (半年) 税込2,100円 (350円×6冊) 送料込
- ② せんだいタウン情報 S-style (1年) 税込4,200円 (350円×12冊) 送料込
- ③ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (半年) 税込2,040円 (680円×3冊) 送料込
- ④ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (1年) 税込4,080円 (680円×6冊) 送料込

【お支払い方法】

①代引きでのお申込み (電話・ファックスでのお申込み)

- 住所、氏名、電話番号、雑誌名、購読期間、定期購読開始希望号をお知らせください。担当者不在の場合は、後ほど担当者よりお電話差し上げます。
- 定期購読開始希望号発売日の前日にお届けいたします。時間帯は「希望なし」「午前中」「12～14時」「14～16時」「16～18時」「18～20時」「20～21時」です。初回のみヤマト運輸のコレクト宅急便にてお届けしますが、以後はヤマト運輸のメール便でお届けいたします（お届け時間のご指定はできません）。
- 定期購読開始号と引き換えに定期購読代金の全額をお支払いください。
- ※このサービスは、ヤマトコレクトサービス(株)、ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスシステムを利用したサービスとなります。
- ※初回お届けの際に、定期購読確認書を同封いたします。
- ※お申込み時期、もしくは一部地域については、発売日前日にお届けできない場合があります。
- ※上記料金は送料、コレクトサービス料金を含みます。
- ※半年の定期購読は、現金書留または郵便振替用紙でお申し込みされた方のみとさせていただきます。

②現金書留または郵便振替でのお申込み

住所、氏名、郵便番号、電話番号を明記し、「S-style(またはKappo)〇号～1年間(または半年間)希望」とご指定の上、お申込みください。郵便振替でお申し込みの場合は通信欄にご記入ください。(郵便振替／加入者:株プレスアート 口座番号:02240-7-20000)ご希望の方には、弊社より郵便振替用紙をお送りいたします。

③webサイトからの申し込み

せんだいタウン情報「machico」内のマチモールでも発売しています。こちらはマチコイン、クレジットカードでの決済が可能です(machico会員への登録が必要です)。詳しくは【<http://machico.mu>】へ。

お問い合わせ・お申込みは

〒984-8516 仙台市若林区土樋103番地 株式会社プレスアート 販売部「定期購読係」へ。

■ 電話／022-266-4519 ■ FAX／022-266-0913 ■ Mail／hanbai@pressart.co.jp



ACTION
みやぎ

www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT”ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす

東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ 08

写真集「Home」、発売中



「大いなる自然を前にした生々しくも静かなメッセージが伝わってくる」「記録者にとどまらずみんな一緒に歩いていくんだという写真家の姿勢がうかがえる」。仙台在住写真家・穴戸清孝氏の写真集「Home 美しき故郷よ」にはこんな声が寄せられています。報道写真集とは違う、写真家の視点を通した震災後の1年。



穴戸清孝写真集「Home 美しき故郷よ」
定価 2,000円(税別)／128頁／オールカラー／A4判
宮城県内の書店、アマゾン、オンライン書店ピーケーワンほかで発売中です。

一ノ蔵『3.11未来へつなぐバトン』
「ハタチ基金」に売上の全額を寄付

震災で、総額1億円余りの被害を受けた酒造メーカー一ノ蔵さん。全国からの支援を受け、いち早く酒造りを再開しましたが、被災地の子どもたちが生活・進学など将来へ大きな不安を抱えていることに心を痛めていました。

そこで、同社の社員のみなさんが、支援に感謝し、被災者が共に助け合い復興を果たしたいとの想いから、「3.11未来へつなぐバトン」という銘柄を発売し、その売上全額を子どもたちのサポートを継続的に行う期限付きの基金「ハタチ基金」へ全額(約600万円)を寄付することになりました。



一ノ蔵 素造過特別純米生原酒「3.11未来へつなぐバトン」
定価 1,800 3,100円(税込)、720ml 1,550円(税込)
お問合せ先／一ノ蔵 マーケティング室 ☎0229-55-4533

ラジオ3、震災関連特別番組
「地域FM発 希望VOICE」を放送

震災から1年となる去る3月11日、ラジオ3が、『コミュニティFM・臨災FMが地域の人にできること』をテーマに特別番組を放送しました。

番組はイオンモール名取のサテライトスタジオから生中継で、県内全13局のコミュニティFM&臨時災害FM局へのインタビューや、市民ゲストとのトーク、常盤木学園高校音楽科の合唱ステージの模様などをお届けしました。



石巻専修大学が、
震災対応の報告書を発行

東日本大震災で甚大な被害を被った石巻地域。石巻専修大学は、幸い軽微な被害で済み、その後は救援基地、復興の拠点として、ボランティアセンターや石巻赤十字病院の分室の設置を引き受け、また地域住民の避難所となった。このような貴重な役割を果たしながら、大学としての本来の機能を回復しようと、学生・教職員が日夜奮闘されました。

今回、今後の防災・復興に役立ててもらおうと、このような大学の活動や対応を当時の資料や証言をもとに記録として一冊の本にまとめました。

あらためて、同大学の行動に敬意を表したいと思います。



お問合せ先／石巻専修大学大学 図書館 ☎0225-22-7718

S-styleまたはKappoを 定期購読していただくと、 被災地の仮設住宅&コミュニティ スペースに本を届けます。



ユーメディアグループでは、東日本大震災を受け、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく地域復興支援活動「ともにプロジェクト ACTIONみやぎ」を展開しております。

この度、S-styleまたはKappoの定期購読（半年または1年）をお申し込みいただくと、被災地の仮設住宅やコミュニティスペースに、お申し込みいただいた雑誌を、同じ期間、発売日に届けるプロジェクトをスタートいたしました。

もともとこの企画はスタッフが仮設住宅を訪問した際に「S-styleを読みたいけど、なかなか入手できる環境にない」というリクエストに応えたものです。

読者の皆さまは今まで同じように定期購読していただくだけです。弊社のほうで自動的に必要とされている場所に本を届けます。お申込みは4月1日から5月末日までの2カ月間。4月1日以降に定期購読の継続手続きをしていただいた方も対象になります。本がどこに届けられたかについてはS-styleやKappoの誌面、ともプロwebサイトで報告いたします。

この機会にぜひS-styleまたはKappoの定期購読をご検討ください。

- ① せんだいタウン情報 S-style (半年) 税込2,100円 (350円×6冊) 送料込
- ② せんだいタウン情報 S-style (1年) 税込4,200円 (350円×12冊) 送料込
- ③ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (半年) 税込2,040円 (680円×3冊) 送料込
- ④ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (1年) 税込4,080円 (680円×6冊) 送料込

【お支払い方法】

① 代引きでのお申込み (電話・ファックスでのお申込み)

- 住所、氏名、電話番号、雑誌名、購読期間、定期購読開始希望号をお知らせください。担当者不在の場合は、後ほど担当者よりお電話申し上げます。
- 定期購読開始希望号発売日の前日にお届けいたします。時間帯は「希望なし」「午前中」「12～14時」「14～16時」「16～18時」「18～20時」「20～21時」です。初回のみヤマト運輸のコレクト宅急便にてお届けしますが、以後はヤマト運輸のメール便でお届けいたします（お届け時間の指定はできません）。
- 定期購読開始号と引き換えに定期購読代金の全額をお支払いください。
- ※このサービスは、ヤマトコレクトサービス（株）、ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスシステムを利用してのサービスとなります。
- 初回お届けの際に、定期購読確認書を同封いたします。
- ※お申込み時期、もしくは一部地域については、発売日前日にお届けできない場合があります。
- ※上記料金は送料、コレクトサービス料金を含みます。
- ※半年の定期購読は、現金書留または郵便振替用紙でお申し込みされた方のみとさせていただきます。

② 現金書留または郵便振替でのお申込み

- 住所、氏名、郵便番号、電話番号を明記し、「S-style（またはKappo）」〇号～1年間（または半年間）希望」とご指定の上、お申込みください。
- 郵便振替でお申し込みの場合は通信欄にご記入ください。（郵便振替／加入者：株プレスアート 口座番号：02240-7-20000）
- ご希望の方には、弊社より郵便振替用紙をお送りいたします。

③ webサイトからのお申し込み

- せんだいタウン情報「machico」内のマチコイン、クレジットカードでの決済が可能です（machico会員への登録が必要です）。詳しくは【http://machico.mu】へ。

お問い合わせ・お申込みは

〒984-8516 仙台市若林区土樋103番地 株式会社プレスアート 販売部「定期購読係」へ。

■ 電話／022-266-4519 ■ FAX／022-266-0913 ■ Mail／hanbai@pressart.co.jp

ともに
PROJECT

ACTION
みやぎ

www.tomonl.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、
地域とともに歩んできた企業として
の役目を果たすべく「ともに
PROJECT”ACTIONみやぎ”」という
地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす

東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ 09

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

machico編集長

自ら歩き、ペンを走らせ

宮城を見つめてきた1年間

せんだい
タウン情報
machico



仙台 マチコ 検索

マチコ編集長が運営するブログ。当初はmachicoの最新情報や何気ない日常を掲載していました。しかし東日本大震災が起きてからこのブログには、被災地の事を心配する多くの人へ復興へ向かう宮城の様子を伝える、という大切なミッションも加わることとなります。そうして3.11からこれまで沢山の人や場所を取材し、多くの人と繋がる事が出来ました。今まで掲載した50件以上の記事の中から一部をご紹介します。

Vol.7 仙台市の津波被害地へはじめの一歩 (2011年4月)

泥まみれで斜めになった公衆電話の脇に、発電機につなげたポットとレンジを置いて営業を始めたセブンイレブン。こんな状況の中でも笑顔で接客してくれる店員さんから力をもらった事を今でも覚えています。



Vol.51 伊勢谷友介氏と復興祈念植樹 (2012年3月)

震災からちょうど一年後の3月11日、自分たちと、未来の子どものために追われる施設「ROKU FARM ATALATA」の建設予定地で行われた「震災復興祈念植樹セレモニー」に参加し、プロジェクトのサポーター代表 伊勢谷友介氏と復興を誓う熱い握手を交わしました。



Vol.53 南三陸バスツアーに参加して (2012年3月)

Kappoとたびむすびが主催する、南三陸バスツアーで「被災地の今」を見てきました。自分の中にある被災地のイメージがいかに思い込みであったのか、実際に訪問して気付くことがたくさんありました。



詳しくはmachico内編集長ブログに掲載中。
最新の記事も随時更新していますので、是非一度ご覧ください。

復興大学 (学都仙台コンソーシアム)

「東北の復興・新生を目指して」

復興大学では、学都仙台コンソーシアムが行ってきた単位互換やサテライトキャンパス公開講座等の取り組みを発展させ、災害復興を念頭に置いた人材育成の新たな教育の仕組みとして、被災地に存在する高等教育機関、仙台市、宮城県、並びに県内の自治体等と協力して4つの事業（復興人材育成教育コース、教育復興支援、地域復興支援ワンストップサービス、災害ボランティアステーション）を推進し、未曾有の大震災からの復興に寄与します。



復興大学 http://www.fukkou-daigaku.jp/
お問合せ先／復興大学 本部 TEL/FAX 022-716-5023

Kappo×たびむすび 南三陸バスツアー

「被災地を見てほしい」

という声から企画された、

語り部ガイドと行く、南三陸の旅。

Kappo

(2012年3月30、31日実施)

Kappoの取材でお話を伺った、南三陸町の語り部ガイド・鴻巣修治さんのお話がとても印象に残っていた。取材中に涙を流したのも初めての経験だった。伝えることの覚悟と苦しさを感じられた語り部ガイドの皆さんのお話をたくさんの人たちに聞いてもらいたいと思った。それも現地で。それがこのツアーを企画した発端だ。



仙台に暮らす者と被災地をどうやってつなげていくか。南三陸の宿に泊まり、仮設商店街で消費をする。寄付をするのではなく、普通に消費してもらうことの大切さ。それもある。そして直接地元の方々の体験談を聞くことによって、人と人とのつながりができ、より復興に向かう力を強くすることができるとはいえない。仙台と被災地のネットワークをもっと太く、より広範囲に。そんなイメージだ。

ツアーを実施してみて事後的に明確になったことは、まずは自らの目で被災地を見て記憶を定着させることの重要性だ。メディアを通してではなく、剥き出しになった現実を肌で知ることによって感ずること。それは人によって異なるが、その重みは言葉では言い表せない。そして、「減災教育」というキーワード。南三陸町が町を挙げて取り組んでいるこの教育にこそ、現地に行くことの意味が込められている。

語り部ガイドが語る内容は集合記憶だ。その人が体験した話だけではなく、聞いた話も含まれている。町民が体験した震災の記憶を、ひとりの人間が語るのだ。だから、それらの記憶はさまざまな場所でディテールともに語られる。戸倉中学校、戸倉小学校、志津川病院、防災庁舎、三嶋神社。「波がどう来て、どう逃げたのか」「人々はどう協力して、どう助け合ったのか」「どういう二次災害があったのか」「リーダーはどう判断したのか」。その場に立って、語り部ガイドの話を聞くと、それらの情景が浮かんでくる。そのリアリティにこそ、自分が同じ状況に置かれた時にどう行動すべきかのよすががある。災害の被害を少しでも減らすための気づきがあるのだと思う。



また、このバスツアーでは、2月にできたばかりの南三陸さんさん商店街の取りまとめ役である山内鮮魚店の山内正文さんにもお話を聞くことができた。昨年5月に被災地応援ファンドの説明会で会った時にも思ったが、どんな困難が襲っても、必ず壁は乗り越えられるという信念の強さ。そして明るさ。お会いする度にポジティブなパワーを感じる経営者のひとりだ。



最後に南三陸ホテル観洋の小野寺浩支配人の言葉でこの稿を終える。南三陸町を訪れ、帰るお客様が異口同音に言う言葉。「南三陸町を訪れる前は、本当に行つていいものが葛藤していました。いまは来て良かったと思っています」と。小野寺さんは言う。「現地で何かを感じて、地元に戻ってから感じたことを発信してもらえると、それが復興につながると思います。だからどんどん来てほしい。歓迎しています」。今回は南三陸だったが、今後は他のエリアでもこういったバスツアーを実施していきたいと思っている。(Kappo編集長)

S-styleまたはKappoを 定期購読していただくと、 被災地の仮設住宅&コミュニティ スペースに本を届けます。



ユーメディアグループでは、東日本大震災を受け、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく地域復興支援活動「ともにプロジェクト ACTIONみやぎ」を展開しております。

この度、S-styleまたはKappoの定期購読（半年または1年）をお申し込みいただくと、被災地の仮設住宅やコミュニティスペースに、お申し込みいただいた雑誌を、同じ期間、発売日に届けるプロジェクトをスタートいたしました。

もともとこの企画はスタッフが仮設住宅を訪問した際に「S-styleを読みたいけど、なかなか入手できる環境にない」というリクエストに応えたものです。

読者の皆さまは今まで同じように定期購読していただくだけです。弊社のほうで自動的に必要とされている場所に本を届けます。お申込みは4月1日から5月末日までの2カ月間。4月1日以降に定期購読の継続手続きをしていただいた方も対象になります。本がどこに届けられたかについてはS-styleやKappoの誌面、ともプロwebサイトで報告いたします。

この機会にぜひS-styleまたはKappoの定期購読をご検討ください。

- ① せんだいタウン情報 S-style (半年) 税込2,100円 (350円×6冊) 送料込
- ② せんだいタウン情報 S-style (1年) 税込4,200円 (350円×12冊) 送料込
- ③ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (半年) 税込2,040円 (680円×3冊) 送料込
- ④ 大人のためのプレミアムマガジンKappo (1年) 税込4,080円 (680円×6冊) 送料込

【お支払い方法】

① 代引きでのお申込み (電話・ファックスでのお申込み)

- 住所、氏名、電話番号、雑誌名、購読期間、定期購読開始希望号をお知らせください。担当者不在の場合は、後ほど担当者よりお電話差し上げます。
- 定期購読開始希望号発売日の前日にお届けいたします。時間帯は「希望なし」「午前中」「12～14時」「14～16時」「16～18時」「18～20時」「20～21時」です。初回のみヤマト運輸のコレクト宅急便にてお届けしますが、以後はヤマト運輸のメール便でお届けいたします（お届け時間のご指定はできません）。
- 定期購読開始号と引き換えに定期購読代金の全額をお支払いください。
- ※このサービスは、ヤマトコレクトサービス（株）、ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスシステムを利用しているサービスとなります。
- ※初回お届けの際に、定期購読確認書を同封いたします。
- ※お申込み時期、もしくは一部地域については、発売日前日にお届けできない場合があります。
- ※上記料金は送料、コレクトサービス料金を含みます。
- ※半年の定期購読は、現金書留または郵便振替用紙でお申し込みされた方のみとさせていただきます。

② 現金書留または郵便振替でのお申込み

住所、氏名、郵便番号、電話番号を明記し、「S-style（またはKappo）〇号～1年間（または半年間）希望」とご指定の上、お申込みください。郵便振替でお申し込みの場合は通信欄にご記入ください。（郵便振替／加入者：（株）プレスアート 口座番号：02240-7-20000）ご希望の方には、弊社より郵便振替用紙をお送りいたします。

③ webサイトからの申し込み

せんだいタウン情報「machico」内のマチモールでも発売しています。こちらはマチコイン、クレジットカードでの決済が可能です（machico会員への登録が必要です）。詳しくは【<http://machico.mu>】へ。

お問い合わせ・お申込みは

〒984-8516 仙台市若林区土樋103番地 株式会社プレスアート 販売部「定期購読係」へ。

■ 電話／022-266-4519 ■ FAX／022-266-0913 ■ Mail／hanbai@pressart.co.jp



ACTION
みやぎ

www.tomonl.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT"ACTIONみやぎ"」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シイエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす

東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしレポ 10

地域の魅力や今を伝える復興支援

せんだいタウン情報 S-styleとmachicoで
白石市の観光情報を定期的に発信していきます。

歴女もグルメも温泉好きも大満足!宮城の観光といえば“白石市”ははずせません。その白石市の魅力やイベント情報を今後定期的に発信していきます。

第1弾は、白石市の温泉会社8社が協同で企画する「白石うーめんコンテスト」。白石うーめんの調理写真をmachicoに投稿いただいてエントリーすると、白石うーめんが当たるコンテストに参加いただけます。

また、優秀作品には賞金や白石温泉1年分がもらえるチャンスも!

併せて、白石観光に便利なクーポンなども配信予定です。

詳しくは、6月以降のせんだいタウン情報 machico (<http://machico.mu>)をご覧ください。



宮城県復興応援ブログ
「ココロプレス」が新たな季節へ。

昨年12月にスタートした宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」。震災で大きな打撃を受けた県内各地を訪ねて、懸命に地域の復興や生活の再建に取り組む人々の姿や、世界中から寄せられる力強く温かい応援の様子を発信してきました。震災から1年が過ぎた今、被災地の様子はずいぶん変わってきました。被災地の外からの関心も少しずつ変化しているように感じられます。ココロプレスはこれからも、そうした「小さな変化」を見逃さずに、希望の芽を応援していきます。



宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」
<http://kokoropress.blogspot.com/>

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」
For Children By Children
ニューヨークの子どもたちからの
絵が到着。

仙台 マチコ 検索

世界中の子どもたちが被災地を思って描ってくれた絵を掲載している「For Children By Children」。

NYにある神戸発の子供服屋さん「Bit'z Kids」で、来店した子どもたちが日本のお友達へのメッセージとして絵を描いてくれました。「日本のお友達がこの絵を見ていつかニューヨークに行ってみたい」と希望を持ってくれたら嬉しい」という思いから、テーマは「私たちの好きなニューヨーク」。日本の子どもたちとはまた違う感性、とっても素敵な絵ばかりです!

また、日本からの「ありがとう」の絵も続々と集まっているので、近日公開いたします。

日本からの絵もまだまだ募集中です。是非ご応募くださいな。



AppCon EAST JAPAN

エントリー開始!

東日本大震災後、東北の地で Android アプリケーションの開発技術者の育成と能力向上を図り、アプリケーションビジネスを活性化させることを目的に設立した、Fandroid EAST JAPAN。スマートフォンアプリケーションコンテスト「スマホアプリが旅を変える!AppConEASTJAPAN」を開催。ただいまエントリー受付中です。

【スマホアプリが旅を変える! AppCon EAST JAPAN / 概要】

〈募集テーマ〉旅&おでかけ ※応募促進のため、プレイベントを数回開催予定です。

〈募集部門〉①アプリ/WEBサービス開発部門、②アイデア企画部門、③アイコンデザイン部門

〈エントリー期間〉2012年5月7日(月)～2012年7月20日(金)

※審査会、表彰式を開催予定

〈URL〉<http://fandroid-ej.org/appcon/>



仙台オクトーバーフェスト2012

9月開催決定!

今年も熱いビール祭りがやってくる。

昨年、仙台の街に元気を取り戻そうと開催された「仙台オクトーバーフェスト」。今年は、9/14～23のシルバーウィークの10日間、例年通りの錦町公園で開催されることが決定しました。また、ドイツから「バイエルンドライ楽団」が来仙することも決まり、バイエルン地方の愉快な民族音楽で会場を盛り上げてくれそうです。



仙台オクトーバーフェスト2012公式サイト
<http://www.sendai-oktoberfest.jp>



ACTION
みやぎ

www.tomonet.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ

東日本大震災復興支援 With you プロジェクト
こわい体験をした子ども達が今伝えたいことー

絵本「しんちゃんの手紙」

新潟のフリーアナウンサー伊勢みずほさん(仙台市出身)が、避難所で「しんちゃん」という男の子に出会い、南三陸町立伊里前保育所で険しい裏山を子どもたちが登って避難したという話を聞いたことが絵本制作の始まりでした。作画を担当した絵本作家イキミナコさん、日本赤十字社新潟県支部、第一印刷所で伊里前保育所を取材し、ストーリーを構成しています。

3.11、東日本大震災で被災した「しんちゃん」が感じた想い。そして、地域や家族、支援者との絆。笑顔で明日に向かう「しんちゃん」に元気をもらう絵本です。度重なる災害で全国から支援を受けた新潟から、ほんの少しの恩返しを!!

税込1,000円 ジュンク堂書店仙台本店、八文字屋書店セルバ店、かほく書店(石巻市)で発売中。売り上げ一冊につき100円を義援金として寄付します。



【お問合せ】(株)第一印刷所「しんちゃんの手紙」出版事務局
TEL:025-283-6222 E-mail: shinchan@dip.co.jp



ラジオ3

仙台F・VOICEがスタート



ラジオ3では震災以降、様々な復興関連番組を放送していますが、この度「仙台F・VOICE」がスタートしました。「F」は復興の「F」、「Future」の「F」。仙台で復興活動を行っている方に、市民インタビュアーがお話を伺います。被災された方、支援活動をされている方、それを支える方など、様々な形で仙台の復興を願う方々に、市民の視線からインタビューします。一緒に仙台の未来を考えてみませんか?

この番組は、赤い羽根「災害ボランティア・NPOサポート募金」の助成を受けて放送しています。これは、被災者の皆さんのために活動するボランティアグループやNPOへの支援金を集める募金です。詳しくは「赤い羽根共同募金」のホームページをご覧ください。



仙台F・VOICE
放送日時:火～金曜日「がんばろう仙台・宮城」内 14:30～14:40頃

仙台オクトーバーフェスト2012

公式サイトリニューアル!

9月の開催までカウントダウン

9/14～23のシルバーウィークに開催が決定した第7回「仙台オクトーバーフェスト」。ドイツから来仙する楽団も決定し、現在事務局ではその準備を進めています。

その中で、仙台オクトーバーフェストの新ロゴマークとキャラクターが完成。ホームページのデザインも一新され、お得なキャンペーン情報がこれから掲載される予定です。トップページでは、開催まで毎日カウントダウンが始まり、フェイスブックや、ツイッターでも最新情報を発信されるなど、開催まで目が離せません!



仙台オクトーバーフェスト2012

[Website] <http://www.sendai-oktoberfest.jp>
[Facebook] <http://www.facebook.com/sendaioktober/>
[Twitter] <http://www.twitter.com/sendaioktober/>

雑誌定期購読者の

ご協力を得て、

「S-style」「Kappo」を

仮設住宅に贈呈しました



S-styleまたはKappoの定期購読の新規契約・更新をしていた分を、東日本大震災の被害を受けた地域の仮設住宅に贈呈するというプロジェクトを進めています(すでに申し込みは締め切りました)。



まずは地元・若林区からということで、若林区卸町五丁目公園仮設住宅の町内会長である松本ひろみさんに本を届けてきました。松本さんの自宅は荒浜にあり、津波により大きな被害を受けました。この仮設住宅には若林区に限らず、亘理町や仙台市内の内陸部からなど、さまざまな場所から人が集まっています。「特に地縁のある仮設住宅ではないので、まずはコミュニティを作るところから始めました」と松本さん。いまでは英会話、カラオケ、畑などのクラブがあり、孤立を防ぐさまざまな活動が行われています。この日は仮設住宅の敷地内で収穫した野菜を使った料理が振る舞われるなど、集会所は賑わいを見せていました。「巾着袋やティッシュケースなど、手づくり商品を開発して販売したりしています。売ってくれるところ募集中です」。

S-styleまたはKappoを送ってほしい仮設住宅がありましたら、編集部までご一報ください。





ACTION
みやぎ

www.tomonet.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ 12

Webサイト 「せんだいタウン情報machico」

絵本「しんちゃんのランドセル」がマチモールで 購入できるようになりました!

宮城県南三陸町取材し、被災した子どものエピソードを題材にした絵本「しんちゃんのランドセル」。株式会社 第一印刷所と日本赤十字社新潟県支部が連携し「東日本大震災復興支援 With You プロジェクト」として制作したものです。

今回、この絵本をせんだいタウン情報machicoのショッピングコーナー「マチモール」でも販売を開始しました。貯めたマチコインも使用できます。

3.11、東日本大震災で被災した「しんちゃん」を感じた思い。そして、地域や家族、支援者との絆。笑顔で明日へ向かう「しんちゃん」に元気をもらおう絵本です。

是非全国の親子に読んでいただきたい一冊です。

マチモール

検索



価格(税込) ¥ 1,000 【売上一冊につき100円が義援金として寄付されます。】
http://pages.machico.mu/mall/ (PC版)
TEL:025-283-6222 E-mail: shinchan@dip.co.jp

穴戸清孝写真集「Home」、*Kappo* 売上の一部をあしなが育英会に 寄付しました。

仙台在住の写真家・穴戸清孝さんが震災1年の宮城を記録した写真集「Home」(3月1日発売/小社刊)の売上の一部を、あしなが育英会東北事務所に寄付してきました。あしなが育英会は今年3月までに2055人の震災孤児・遺児を確認し、現在までに41億円の特別一時金を孤児・遺児に給付しています。東北事務所長である林田吉司さんは、「不眠症の子、揺れに怯える子、暴力的になっている子、家族が亡くなったことを自分のせいにしてしまう子など、被災した子どもたちの心はズタズタになっています。その子たちの心を受け止める大人が必要です」と訴えます。現在、あしなが育英会では、陸前高田や石巻に拠点となる「東北レインボーハウス」の建設を進めています。「震災孤児や遺児が、自分たちで自分の道を選ぶようになるまで支えるのが東北の大人たちの責任である」という言葉に胸を打たれました。



また、穴戸清孝さんが6月17日に韓国・麗水で開催された「日本元氣祭」にパネリストとして参加し、唐桑の牡蠣養殖家の畠山重篤さん、気仙沼・男山酒造の菅原昭彦さんなどとともに被災の状況や復興の様子を伝えてきました。

Webサイト 「せんだいタウン情報 machico」

仙台七夕まつり期間中、 市民広場・円形公園 特設ブースにて 海外の子どもたちの絵を展示

8月6日(月)~8月8日(水)の仙台七夕まつり期間中、せんだいタウン情報machico「For Children By Children」プロジェクトで集まった海外の子どもたちの絵を市民広場・円形公園の特設ブースに展示します。

海外の子どもたちが被災地の子どもたちを元気づけるために心を込めて描いてくれた絵はどれもとっても色鮮やかで素敵!キラキラ光る星空のようです。

また、ブースでは日本からの「お返しのメッセージ」も募集。当日書いてくれたお子さんには、カラーコーディネーターが監修し制作した「オリジナル折り紙」をプレゼント!

メッセージは後日サイトにも掲載いたします。

どうぞ足を運んでください。



折り紙のかわいい!絵柄は計12種類!

仙台オクトーバーフェスト2012

『東北復興“プローストカフェ”』

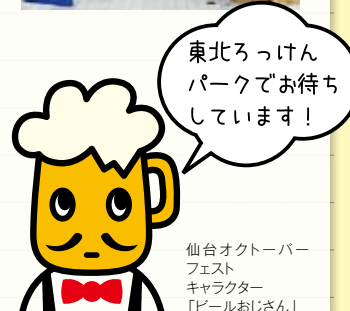
9/1・2(土・日)、先頃オープンした復興支援施設「東北ろっけんパーク」(青葉区中央2丁目)で、仙台オクトーバーフェストの開催を記念したプレイベント『東北復興“プローストカフェ”』を開催します。

仙台オクトーバーフェストで使用するベンチ・テーブルで、地ビール、ソーセージの試飲や試食(数量限定)を楽しめる他、おまつりに関するパネル展や、チラシなどを配布、復興支援の限定割増商品券の販売も行います。街でのお買物の途中で、ちょっとビールで一息入れてみませんか。

仙台
オクトーバーフェスト
2012
社 部の ビール 祭り



東北ろっけんパーク
TEL:022-395-6101
営業時間:10:00-19:00
http://tohoku-rockenpark.com/



東北ろっけん
パークでお待ち
しています!

仙台オクトーバー
フェスト
キャラクター
「ビールおじさん」

ともに PROJECT

ACTION
みやぎ

www.tomonet.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シイエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともレポ 13

ラジオ3「マイタウンレディオ」 @東北ろっけんパーク

東北ろっけんパークの2Fにラジオ3のサテスタが登場、9月から翌年3月までの毎週金曜午後3時～5時にわたって、ラジオ3の情報番組「マイタウンレディオ」をこのスタジオから放送します。「マイタウンレディオ」の中では復興商品の生産者へインタビューしたり、東北ろっけんパークのイベントや展示販売中の商品紹介をしていきます。放送を通して東北全体が繋がって行くことを願うプログラムです。パーソナリティは世之介、より深いエピソードを聞き出して心の通う番組をつくりあげていきます。



仙台オクトーバーフェスト2012 『東北復興“プローストカフェ”』

9/1・2(土・日)、東北ろっけんパーク(青葉区中央2丁目クリスロード商店街)で、仙台オクトーバーフェストの開催を記念したイベント『東北復興“プローストカフェ”』を開催します。

仙台オクトーバーフェストで使用するベンチ・テーブルで、ビールとソーセージを楽しめるのはもちろん、なんと1割増しの商品券を限定販売。美味しく、お得にオクフェスを楽しめちゃう。その他にも、おまつりに関するパネル展や、情報満載のチラシなどを配布。街中のお買物途中で、ちょっとビールで一息入れてみませんか。

仙台
オクトーバーフェスト
2012
その日のビール祭り



東北ろっけん
パークでお待ち
しています!

仙台オクトーバーフェスト
キャラクター
「ビールおじさん」

東北ろっけんパーク2F チャレンジボックス出品者募集中!

仙台市委託事業として東北の復興を応援する東北ろっけんパークでは、2階TRY6(トライックス)チャレンジボックスの出品者を「創業・復興・仙台発」など6つのカテゴリーで募集しています。

- 資格/満20歳以上で東北6県に在住の方、本支店がある事業所の方。
- 募集数/16枠(いずれも約、高さ42cm×幅42cm×奥行33cm)
- 出店期間/平成24年9月15日～平成25年3月15日(1ヶ月単位)
- ボックス料/1枠 月額500円～1,500円(税込)
- フォロー体制/TRY6にて出品現物の販売代行をします。
- 申込締切/9月5日(水)必着

詳しいお問い合わせ・お申し込みは

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-5-8 東北ろっけんパーク
TRY6 チャレンジボックス担当/佐々木、漆田、高橋
TEL:022-395-6121(受付時間:10時～18時)
http://tohoku-rockenpark.com

仙台市から東北六県の復興を応援する 「東北ろっけんパーク」と連携して、 復興・創業・交流を 支援します!



誌面と連動した ボックスショップ、スタート

Kappo

Kappoでは、東北ろっけんパーク2階TRY6のチャレンジボックスで、誌面と連動した逸品アイテムの展示・販売を行います。9月1日(土)～は、現在発売中のKappo9月号(Vol.59)大人旅から、「花巻 賢治の生きた空と大地 豊饒の森と温泉」をテーマに、花巻市観光協会のご協力をいただき、賢治グッズや賢治本などを販売します。宮沢賢治が生まれ、暮らし、作品に描いた花巻の魅力をボックスの中で多少なりとも表現できればと考えています。今後も「大人旅」や「闊歩的逸品」と連動して、東北の復興につながる商品を展示・販売していきます。



ボックスショップ「Kappo×花巻」
9月1日(土)～10月4日(木)

地域密着型ラジオ局が選んだ 一局一品の展示販売

F M 7 6 . 2
RADIO3
SENDAI, JAPAN

この企画は東北6県のコミュニティFM局と臨時災害FM局が推薦するご当地の復興商品を展示販売するものです。2012年9月から2013年3月まで、東北ろっけんパーク2階TRY6のチャレンジボックスに商品の現物展示と、復興に関わる商品開発ストーリーをPOPに記載して紹介します。東北各地の地域密着型ラジオ局ならではのローカル色あふれる庶民派の復興商品がラインナップされ、1ヶ月毎に6種類を展示販売します。またラジオ3「マイタウンレディオ」では各商品の生産者へインタビューなども行い、多角的に復興支援をしていきます。





ACTION
みやぎ

www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともレポ | 4

グランプリ決定! わが家自慢の白石うーめんコンテストが 開催されました。

白石のご当地グルメ「白石温麺」を多くの方に知ってもらおうと、奥州白石温麺協同組合が主催で、ご家庭で日ごろ食べている「わが家自慢の白石うーめんメニュー」を募集。せんだいタウン情報machicoで告知・募集した結果、多数のご応募をいただきました。

優秀な10作品が選考され、9作品が『わが家自慢のうーめんコンテスト』にエントリー。コンテスト会場では、白石市長やフードコーディネーターなどを審査員に、エントリーした9名の方が調理、審査員が実食後、グランプリ・準グランプリが決定しました。



▲グランプリ作品
白石温麺カマンベールチーズのせwith
塩こうじ卵と塩こうじしめじ

せんだいタウン情報machicoでは、入選作品のレシピを公開中



<http://pages.machico.mu/shiroishi-umen/report.html>

わが家自慢の白石うーめんコンテストの様子は動画配信中。動画で巡る白石発見ブログ「Loven'白石!」



<http://lovensiroisi.jugem.jp/?eid=23>

仙台オクトーバーフェスト2012 ご来場ありがとうございました。

今回で7回目となる「仙台オクトーバーフェスト」は、9月23日に無事終了いたしました。今年は天候にも恵まれ、過去最多の来場者数を記録し、市民のみならず愛され、期待されるイベントに成長したことを実感しています。

ドイツからバイエルンドライ楽団を招き、地元仙台市への表敬訪問を行うとともに、来賓参加のもとオープニングセレモニーを実施し、仙台とドイツの交流を図ってまいりました。これからも、地域の活性化のために、「杜の都のビールまつり」として、日独交流・地産地消・収穫祭（勤労感謝）をコンセプトに開催してまいります。

最後に、フローストカフェを含めた売上の一部を、復興支援として寄付することを決定したことをご報告いたします。

仙台
オクトーバーフェスト
杜の都のビール祭り



仙台オクトーバーフェスト
キャラクター
「ビールおじさん」



仙台オクトーバーフェスト
<http://www.sendai-oktoberfest.jp/>

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

せんだい
タウン情報
machico

仙台七夕まつり、KHBまつりにて 海外の子どもたちの絵を展示。 日本からの「ありがとう」が たくさん集まりました。



2012年8月6日(月)～8月8日(水)の仙台七夕まつり、そして9月1日(土)のKHBまつり。

この期間、せんだいタウン情報machico「For Children By Children」プロジェクトで集まった海外の子どもたちの絵を勾当台公園の特設ブースにて展示しました。

また、ブースで被災地からの「ありがとう」の気持ちを届けよう!と絵やメッセージを募集したところ、本当に沢山の人が足を止めて、温かい絵やメッセージを残してくれました。

描いてもらった用紙を貼っていったブースは、あっという間に絵やメッセージでいっぱい!協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。メッセージの一部は後日サイトにも掲載いたしますので楽しみに。



ねんりんピック宮城・仙台2012 開催されます。

第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会
ねんりんピック宮城・仙台2012
平成24年10月13日(土)～16日(日)
伊達に 実れ!ねんりん いきいきと

10月13日(土)～16日(火)の4日間、「ねんりんピック宮城・仙台2012」が開催されます。「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心として、子どもから高齢者まであらゆる世代が楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典です。スポーツや文化の交流大会、美術展、音楽文化祭、シンポジウム、地域文化伝承館などの様々なイベントを通じて、地域や世代を超えた参加者の交流の輪が全国に広がっています。大会期間中は、宮城県内13市町で18種目の交流大会が開催されるほか、夢メッセみやぎ(仙台市宮城野区港3-1-7)では、「みやぎ元気フェスティバル」が開催され、著名人によるトークショー、お笑いライブ、キャラクターショーをはじめ、宮城・仙台の伝統文化にふれる体験コーナーや健康講座など、楽しく元気になるイベントが盛りだくさんです。こちらのイベントは入場無料ですので、ぜひ会場へ足をお運びください。詳しくはねんりんピック宮城・仙台2012大会専用ホームページをご覧ください。<http://nenrin2012.jp/>



大会マスコットキャラクター
むすび丸

お問い合わせ: ねんりんピック宮城・仙台2012実行委員会事務局
TEL: 022-266-8143



www.tomonet.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティエフエム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ 15

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

食材王国みやぎ

地産地消推進店

キャンペーン開催!

クイズに答えて商品券を当てよう!

11月は「食材王国みやぎ地産地消推進月間」。

11月1日～11月30日には推進店に置いてあるハガキやキャンペーンサイトから応募すると、商品券3,000円が20名に当たるキャンペーンを開催します。推進店はキャンペーンサイトの検索ページや、デジタルブックで閲覧できます。

machicoでもこのキャンペーンを紹介するので、是非参加してくださいね♪

また、11月は「宮城めめ粉PR強化月間」でもあります。お得なキャンペーンも行われますので、詳しくは宮城県ホームページをチェック!

旬のおいしい県産食材を食べて、宮城を応援しよう!!

仙台 machico 検索



東北ろっけんパークで、 雑誌とコミュニティFMが 選んだ商品を展示発売中!

■今月は鳴子漆器を発売中

現在、鳴子漆器を展示・販売中のKappoボックス。鳴子漆器は、職人がひとつひとつ丁寧に仕上げたもので、値段は少し高めですが、丁寧に扱えば、毎日使う日用品でも20年以上もつと言われてます。お箸やお椀、ぐい呑みなど、後藤さんの鳴子漆器が買えるのは仙台ではここだけです。また、好評につき、花巻の賢治グッズも引き続き発売しています。ぜひこの機会にお買い求めください。



■地域のラジオ局が選んだ一商品

9月からスタートした東北6県のコミュニティFM局と臨時災害FM局が推薦するご当地の復興商品を展示販売する企画です。2013年の3月まで、東北ろっけんパーク2階TRY6のチャレンジボックスに商品を展示販売しています。10月も様々な商品を紹介いたします。震災を乗り越えて作られている岩手の醤油やもともと地域の学校の企画として生産されていて原発事故の影響で一度はなくなりかけた福島県南相馬市の小高だいこんかりんとうなど魅力あふれる商品が並んでいます。毎週金曜日午後3時からの「マイタウンレディオ」の中で商品の生産者の方などにインタビューをしています。東北の復興に向けて頑張っている人々の元気な声をぜひ、お聞きください。



東北ろっけんパーク

「チャレンジショップ」第2期出店者募集中!

仙台市委託事業として東北の復興を応援する「東北ろっけんパーク」2階 TRY6(トライックス)では、チャレンジショップの出店者を「創業・復興・仙台発」など6つのカテゴリで募集しています。

- 資格/満20歳以上で東北6県に在の方、本支店がある事業所の方。
- 募集数/3区画(いずれも約1坪)
- 出店期間/平成24年12月15日～平成 25年3月15日
- 費用/期間共益費9,000円(税込)※月額3,000円×3ヵ月一括
- 申込締切/11月5日(月) 必着 ●主催/仙台市、東北ろっけんパーク

詳しいお問い合わせ・お申し込みは

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-5-8 東北ろっけんパーク

TRY6 チャレンジボックス担当:佐々木、漆田、高橋

TEL:022-395-6121(受付時間:10時～18時) <http://tohoku-rockenpark.com>

東北プロダクトクリエイティブ2012開催

東北発の全国・海外で評価されている優れたモノづくりの中小企業製品の展示・販売会『東北プロダクトクリエイティブ2012開催』が、東北ろっけんパークにて開催されます。東北の1県1社のセレクト製品を通じて、次代の東北のモノづくりを感じることができる内容になっています。入場無料。

■会期/11月3日(土)・4日(日) 10時～19時 ※最終日は17時終了

■会場/東北ろっけんパーク ■主催/仙台市 東経連ビジネスセンター

■出展企業/あおり監産業協同組合(青森)、有限会社フラワート(秋田)、及源 鋳造株式会社(岩手)、斎藤マシン工業株式会社(山形)、株式会社ビー・ソフトハウス(宮城)、大堀相馬焼協同組合(福島)、株式会社マルト長谷川工作所(新潟)

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

マチコ編集部と行く

Kesennuma,Smiles.

日帰りバスツアー開催しました。

気仙沼で被災した地元企業・阿部長商店が発起人となり、感謝の気持ちと生きることの強さを全国に向けて発信する「気仙沼・復興再生プロジェクト・Kesennuma,Smiles.」が被災地、気仙沼で開催されました。

マチコ編集部と共にご招待した会員30名を乗せたバスは、南三陸の防災対策庁舎へ。語り部の方から震災での出来事を風化させない大切さを教えていただきました。

気仙沼お魚いちばでは、その場で焼いたとれたてのサンマや、フカヒレ料理に舌鼓。メインイベントでは、堤幸彦監督が気仙沼で震災の生の声を綴った「kesennuma,Voices」の上映や、気仙沼出身のオリンピック銀メダリスト千田健太氏、シンガーソングライター熊谷育美氏、ジャズピアニスト岡本優子氏による、トーク&ライブが行われ、「気仙沼の強さはあたたかさから生まれる」ということが伝わってきました。

詳しくは、マチコ編集長ブログでも掲載していますので、ぜひご覧ください。





ACTION
み や ぎ

www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT」ACTIONみやぎ」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート
株式会社仙台シティアフェム

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす 東日本大震災復興への取り組み

ともにPROJECT活動レポート

ともしポ 16

Webサイト「せんだいタウン情報 machico」

食材王国みやぎ 地産地消推進店 キャンペーン開催中!

美味しい情報満載の連載ブログも お見逃しなく♪

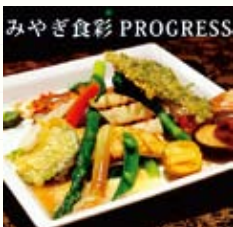
11月は「食材王国みやぎ地産地消推進月間」。現在推進店に置いてあるハガキやキャンペーンサイトから応募すると、商品券3,000円が20名に当たるキャンペーンを開催しています。応募は11月30日までなので、お早目にご応募ください!

またキャンペーンサイトでは地産地消推進店218店のデジタルブックが閲覧できる他、みやぎの食材を応援する連載ブログ「みやぎ食彩 PROGRESS」も連載中!

地産地消推進店で食べられる旬の食材を使った料理の情報や、店舗の県産食材へのこだわりなど、美味しい情報満載のブログです。右ページに詳細が乗っているのでこちらもチェックしてくださいね♪

現在machicoではこのブログへの感想・応援コメントも募集中。コメントをしてくれた方の中から抽選でマチコインもプレゼントしています。

仙台 マチコ 検索



スマートフォンアプリコンテスト 『AppCon EAST JAPAN』の 最終審査会&表彰式を開催いたしました。

主催のFandroid EAST JAPANは、東日本大震災を機に設立された団体。

仙台のIT企業や勉強会、個人が集まりスマートフォンアプリ開発でこの地に産業を興すために設立し、現在では東北の各地に支部が立ち上がり、スマートフォンビジネスを活性化しています。

「AppCon EAST JAPAN」を通して、人と人との交流、産業間の新しい交流が図られ、震災からの産業復興の場として開催されたこのアプリコンテストは、『旅とお出かけ』をテーマに200を超えるエントリー作品から、選ばれたアイデア部門とアプリ開発部門の最終ノミネート者によるプレゼンテーションを行い、大賞を決定しました!

夏野さん、KAYAC柳澤さんなどの豪華審査員や仙台美人時計も登場いただき、大盛況で終わることが出来ました。

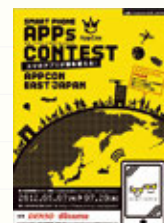


Photo by @ebicky / keiichi ebina

【受賞作品】
アプリ開発部門大賞/SRIA Projects.『ハイ、チーズ』
アイデア部門大賞/マインドフリー株式会社『トリップる』
デザイン部門大賞/株式会社進和クリエイティブセンター『探さないでください』
特別賞/jousonsuguru『バベツワイズ』

受賞作品の詳細はこちら
<http://fandroid-ej.org/news/appcon-east-japan-report/>

東北ろっけんパークで、 雑誌とコミュニティFMが 選んだ商品を展示発売中!

■kappoコラボ企画第3弾は、石巻・珈琲工房いしかわの「コーヒー豆チョコ」

石巻・立町で喫茶店を営んでいた石川さんは、津波によって店舗が壊滅状態になりました。仮設商店街で営業再開する中、石巻から全国に通用する商品を出したいという想いで開発したのが、この「コーヒー豆チョコ」です。深炒りの有機栽培珈琲豆をチョコで包んだ、ほろ苦くて甘い、大人のスイーツ。仙台で買えるのはここだけです(石巻では買えます)。3種類各500円。



■ご当地ラジオ局推薦の一品を販売中

全国に200以上あって、東北6県にも23局あるご当地ラジオ局コミュニティFM。聴くことができる範囲こそ限られていますが地域の特色や個性的な番組が多く、魅力がいっぱいです。そして昨年の震災を機に立ち上がった臨時災害FM、東北の沿岸部各地で放送を続けています。今回の企画では、それぞれの放送局からおすめの商品を紹介してもらいました。11月の商品も素敵なものがいっぱいです! 「八戸のいかそば肉みそ」や「伊達家ゆかりの末家焼き」などを展示販売しています。ぜひこの機会にお買い求めください。



「仙台オクトーバーフェスト2012」、 「東北復興プローストカフェ」

売上寄付のご報告

今年も「ともにPROJECT」の一環として「仙台オクトーバーフェスト2012」(9月14日~23日/錦町公園)を開催しました。そのプレイベント「東北復興プローストカフェ」(9月1日・2日/東北ろっけんパーク)とともに多くの多くの皆様においでいただきましたことを心より感謝申し上げます。

ユーメディアグループでは二つのイベントの売上の一部を仙台市社会福祉協議会へ寄付しました。

仙台
オクトーバーフェスト
2012

